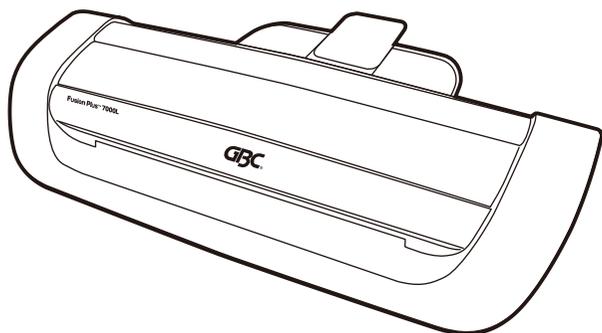


# 取扱説明書

## フュージョンプラス 6000L A3 Fusion Plus™ 6000L A3



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

### はじめに

このたびは弊社パウチラミネーターをお買求めいただき、ありがとうございました。  
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
本取扱説明書は必ず保管してください。

### 目次

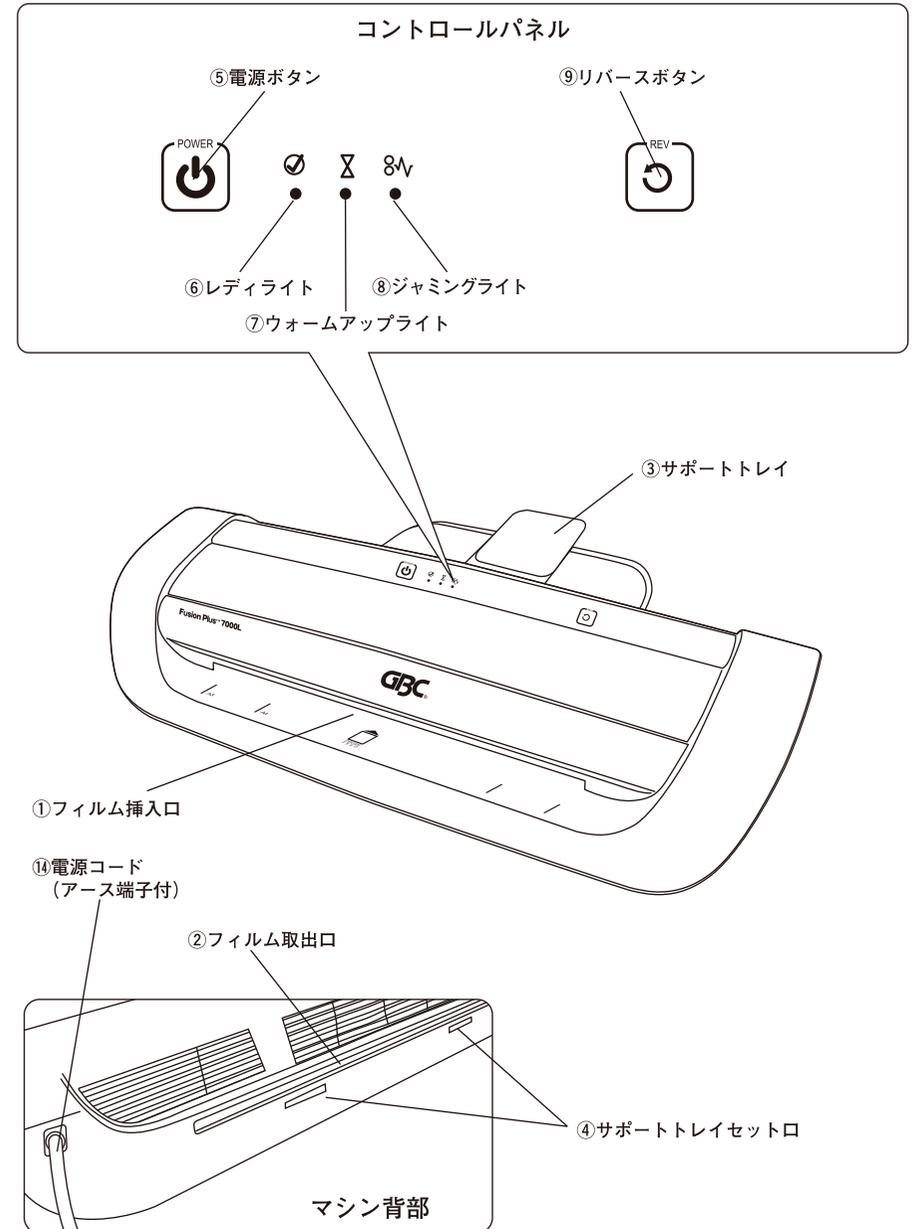
1.内容物の確認	1
2.ご使用上の注意	2
3.各部の名称と働き	4
4.ラミネート作業上の注意	6
5.ご使用の前に	9
6.操作方法	9
7.お手入れ方法	14
8.こんなときは	15
9.製品仕様	16

### ◆保証とサービス

#### お客様へ

- ★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。  
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。
- ★本機はパウチフィルムの糊を溶かすためにヒーターを使用しております。ヒーター使用機器は使用初期に若干の発煙・臭気が発生することがございます。製造上の制約で、完全に無くすることが出来ませんのでご理解下さい。これは使用回数を経ることで減少しますが、数回使用しても発煙・臭気が減少しない場合は使用を中止し、弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- ★本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。  
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

### 3・各部の名称と働き



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。  
※火災、感電の恐れがあります。

### ⚠ 注意



本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。  
※火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。  
また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



絶対に本体の上に物を置かないでください。  
※本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。  
※火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。  
※火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。  
※火災、感電の恐れがあります。



必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。



電源は、延長コード含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単独でご使用ください。タコ足配線はしないでください。  
※感電や発熱による火災の原因になります。

## ①フィルム挿入口

パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

## ②フィルム取出口

ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

## ③サポートトレイ

ラミネートするパウチフィルムを支えるトレイです。使用時は必ずサポートトレイをマシン背部にセットしてください。

## ④サポートトレイセット口

使用時は必ずサポートトレイをこのサポートトレイセット口にセットしてください。

## ⑤電源ボタン (青)

電源コード接続時はこのボタン(青)が点滅します。このボタンにタッチして、電源をオン・オフします。電源ボタン(青)が点滅から点灯に変わります。自動的にオートモード(ホットラミネート)に設定されます。使用しない場合は、このボタンにタッチして必ずオフしてください。

## ⑥レディライト (緑)

ウォームアップが完了しますと、レディライト(緑)が点灯して、ラミネート可能なことを表します。

## ⑦ウォームアップライト (黄)

電源ボタン(青)をタッチすると、自動的にホットラミネートのウォームアップがスタートします。ウォームアップライト(黄)が消え、レディライト(緑)が点灯して、ラミネート可能なことを表します。

## ⑧ジャミングライト (赤)

ジャミング(紙詰まり)が発生した場合、ジャミングライト(赤)が点滅し、自動的に詰まったフィルムを投入口から排出してジャミングを解消します。

## ⑨リバースボタン (赤)

「オートリバース機能」を補助したり意図的に逆転させる場合、リバースボタンを押し続けられれば、加工物をフィルム挿入口から戻すことができます。

## ⑩電源コード(アース端子付)

マシン本体背面にある電源コードのアース端子をアース接続した後に、必ずAC100V のコンセントへ差し込んでください。

## 4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

## ラミネートするもの

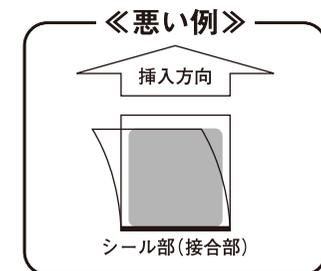
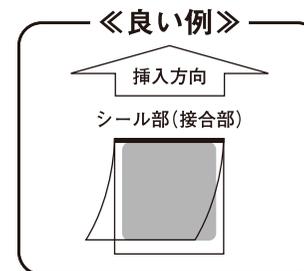
- ★ このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユボ等はラミネートしないでください。
- ★ 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。
- ★ 可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。
- ★ 再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。
- ★ フィルムを含めて厚さ1.0mm以上になるものはラミネートしないでください。
- ★ インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

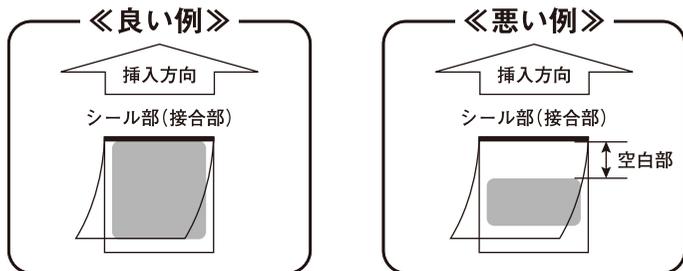
## ラミネートするとき

## 重要 ご使用になる前に必ずお読みください。

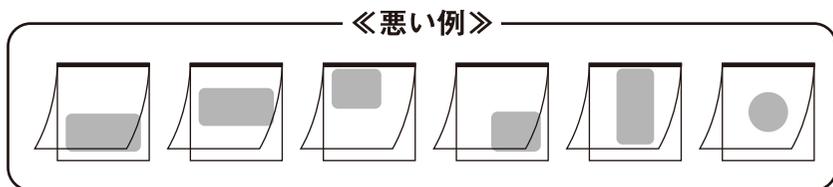
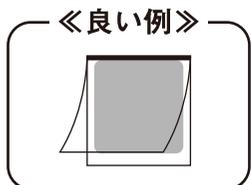
- ★ パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。



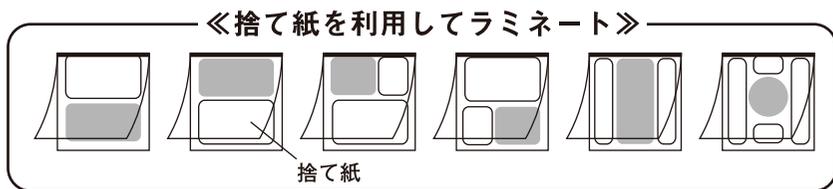
- ★ パウチフィルムのシール部(接合部)奥まで詰めて加工物をセットしてください。挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。



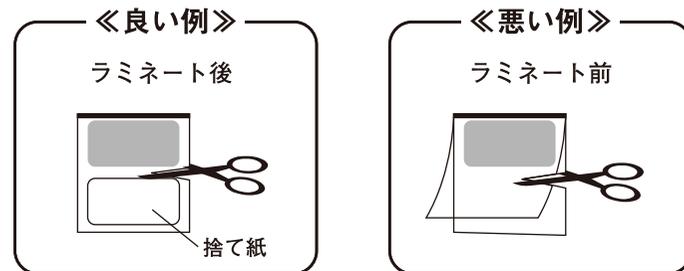
- ★ 加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。  
 ※フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。  
 ※フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。  
 余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。  
 ※凹凸のあるものはラミネート加工には適していません。故障の原因となります。



対処法



- ★ ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。

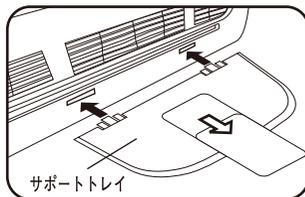


<b>⚠ 注意</b>	
	間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。)

## 5・ご使用の前に

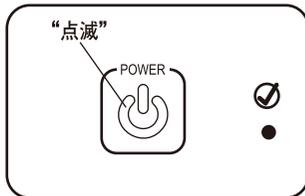
<サポートトレイのセット>

使用する前に、サポートトレイを背面にセットしてください。サポートトレイのフックをフィルム排出口下のサポートトレイセット口へ差し込んでください。その後、トップ部を引き出してください。

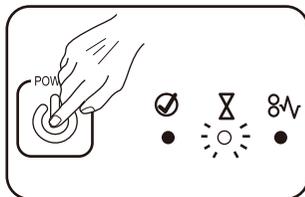


## 6・操作方法

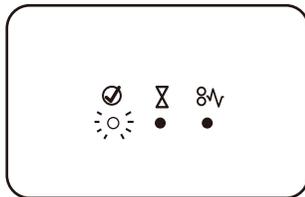
- ①マシン背部にある電源コードのアース端子をアース接続した後に、コンセント(AC100V)に差し込んでください。  
電源ボタンが(青)が点滅します。



- ②電源ボタンにタッチしてください。  
電源ボタン(青)が点滅から点灯に変わります。自動的にオートモード(ホットラミネート)に設定されます。ホットラミネートのウォームアップがスタートします。



- ③約1分後、ウォームアップが完了しますと、レディライト(緑)が点灯して、ホットラミネート可能なことを表します。  
オートモード(ホットラミネート)はラミネートする加工物を自動厚みセンサーが測定し、最適なラミネート速度を自動設定します。



※特別な加工物とフィルム厚の組み合わせをラミネートする際は、必ず事前にテスト加工して、仕上がりを確認してください。

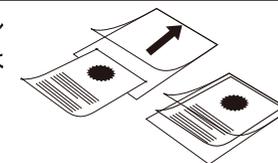
## オートモード

★ラミネートする加工物を自動厚みセンサーが測定し、最適なラミネート速度を自動設定します。

ラミネート速度  
75mic 100mic 150mic 250mic  
早い ← → 遅い

重

★ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。

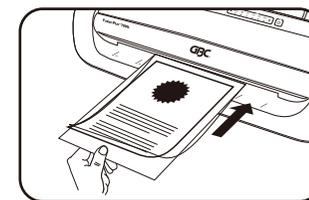


要

★「加工可能」の文字非表示時は、ラミネート用フィルムを通さないでください。

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

- ④フィルムガイドをサイズに合わせて、シールされた側からフィルムをガイドに沿ってフィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。



警告



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。  
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

警告



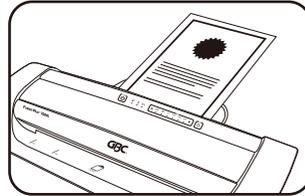
ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まないようにしてください。  
※けがをする原因になることがあります。  
万一引き込まれたときは電源ボタンを押し、「オフ」にして取り除いてください。

## ⚠ 注意

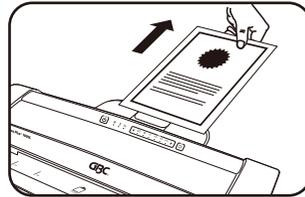


間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

- ⑤パウチフィルムがマシン前面のフィルム取出口から出てきます。



- ⑥ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。



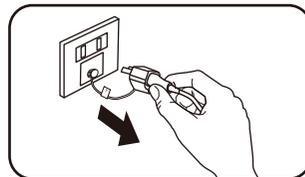
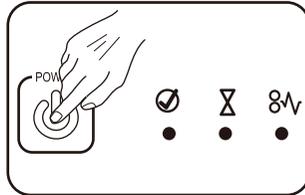
## 連続ラミネートをする場合

★連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

- ⑦ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。(温度が高い状態の時に実施してください。)



- ⑨ローラークリーニングが終了したら、電源ボタンにタッチして電源を切ってください。必ずコンセントから電源プラグを抜いておいてください。



## ローラークリーニング

- ★ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。
- ★クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙(画用紙程の厚さ、200g/m<sup>2</sup>程度の厚さの用紙)を使用してください。
- ★二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

## ーオートシャットオフ機能ー

- ★電源が入ったまま約30分以上ご使用されない場合は、スタンバイ状態になり、自動的に休止します。再度ご使用になる場合は電源ボタンにタッチして電源を入れ直してご使用ください。

## フィルム詰まりトラブル解消方法

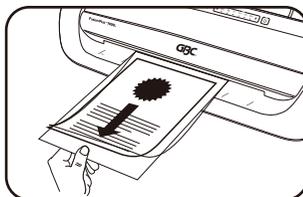
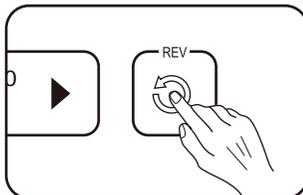
### —オートリバース機能—

フィルム詰まりが発生した場合、ジャミングライト(赤)が点滅し、自動的に詰まったフィルムを投入口から排出してジャミングを解消します。



<詰まったフィルムが完全に排出されない場合>

- ①逆転ボタン押しながら、詰まったフィルムを手で引き戻してください。



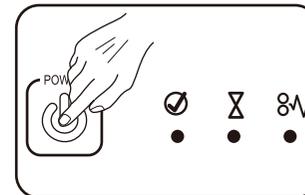
- ②詰まったフィルムが投入口から排出されたら、必ずローラーをクリーニングしてください。

12ページのローラークリーニングの説明を参照。

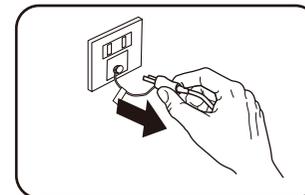


## 7.お手入れ方法

- ①電源ボタンにタッチして電源を切ってください。

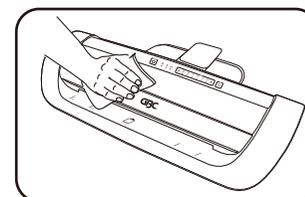


- ②電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。



- ③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

### 警告



ご自分で分解、改造、修理を絶対に行わないでください。  
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

## 8・こんな時は

現象	原因	対処法（参照ページ）
電源が入らない	◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ ◇電源が入ってますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（9ページ） 電源ボタンにタッチして電源を入れてください。電源ボタン(青)が“点滅”から“点灯”に変わっていることを確認してください。（9ページ）
ホットラミネートができない	◇レディライト(緑)が“点灯”していますか？ ◇クーラーの冷気が直接当たっていませんか？	電源ボタンをタッチした後、レディライト(緑)が“点灯”するまでお待ちください。（9ページ） クーラーなどの冷気から離してご使用ください。（3ページ）
ラミネートフィルムがはがれる	◇紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。（6ページ）
ラミネートフィルム表面が汚れる	◇ローラーのクリーニングをしていますか？	同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。（11ページ）
ラミネートフィルムが挿入口から戻ってしまった	◇ジャミングライト(赤)が“点滅”していませんか？	フィルム詰まりが発生して、オートリバース機能が働きました。フィルムを交換した後、再度ラミネートし直してください。（13ページ）
ラミネートフィルムが取出口から出てこない	◇ジャミングライト(赤)が“点滅”していませんか？	フィルム詰まりが発生してオートリバース機能が働きましたが、排出が完了しませんでした。リバースボタンを押しながら、詰まったフィルムを挿入口から引き戻してください。（13ページ）

## 9・製品仕様

商品名	フュージョンプラス 6000L3
	Fusion Plus 6000L3
品番	GLMFS6000L3
サイズ(W) x (D) x (H) ( )内は排出トレイを含むサイズ	578 x 235 (330) x 121 mm
質量 kg	7.9 kg
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
定格消費電力	1,300 W
最大ラミネート幅	A3
最大ラミネート厚	1.0 mm
最大使用フィルム厚	250 μm
ラミネート速度	~1,200mm/分 [50/60 Hz]
加熱方式	外部加熱方式
ウォームアップ時間	約 1 分